

自転車通行空間のあり方

中部地方整備局名古屋国道事務所
交通対策課

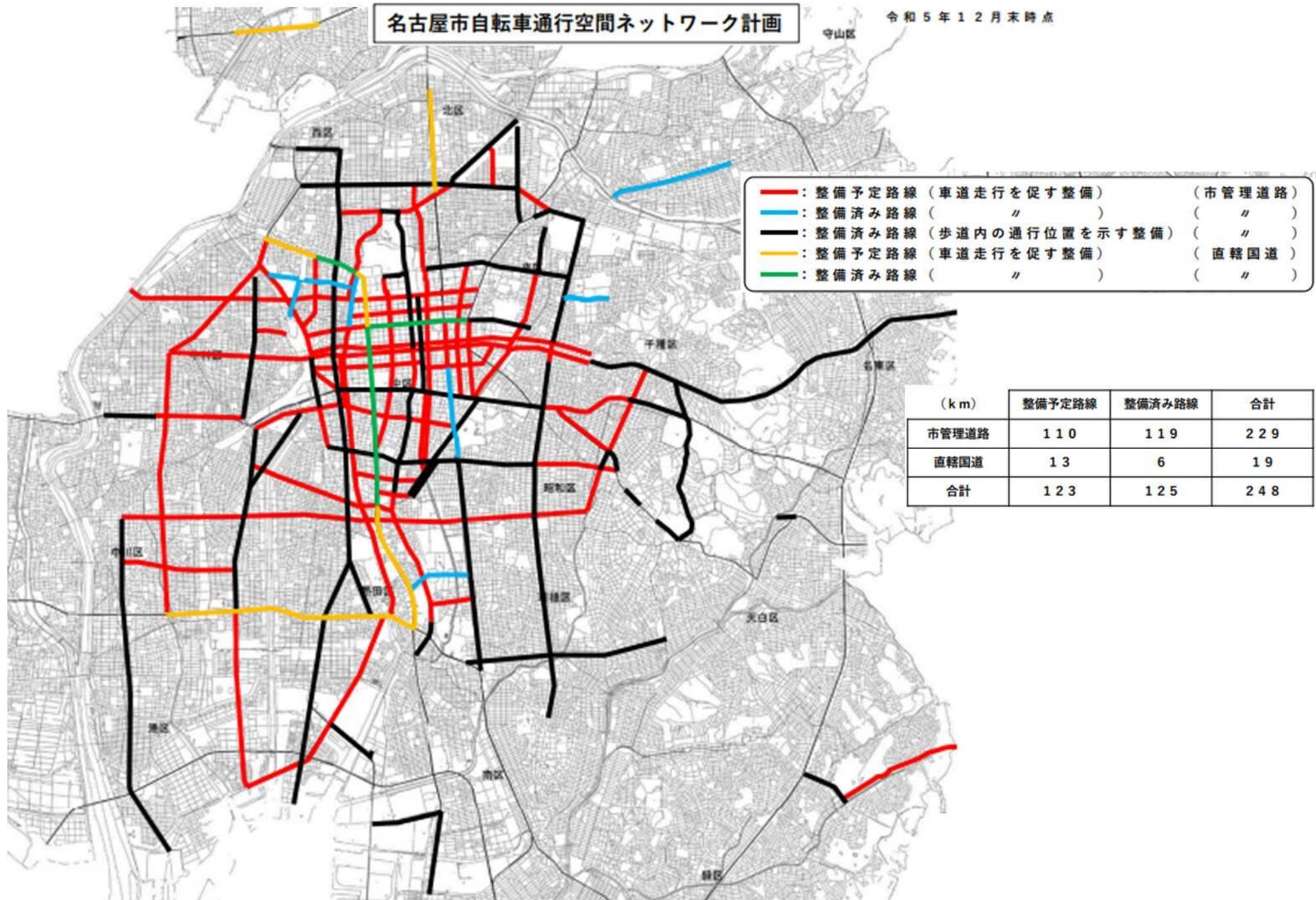
令和7年10月31日



国土交通省

- ・名古屋市内の自転車通行空間整備
- ・都市部ゆえの道路空間再配分の難しさ
- ・名古屋市の特色である「広い歩道」を活かした取り組みが市民にも認知
- ・自転車は歩道の中央から車道よりを徐行．．．守られているか
- ・歩道を自転車が走行する時の歩行者安全向上を検討・試行

名古屋市内の自転車ネットワーク計画



名古屋市・名古屋国道ではネットワーク計画に位置付けた自転車通行空間の整備を
銳意推進している。

自転車専用通行帯の例1 国道19号：中区大須地区



自転車専用通行帯の例2 市道木挽町通：中区



名古屋市・名古屋国道ではネットワーク計画に位置付けた自転車通行空間の整備を
銳意推進している。

自転車道の例1 国道22号：西区



自転車道の例2 市道豆田町線：熱田区



一方、一部の道路では交通量、路肩幅員、既存の道路施設等により道路空間の再配分が困難な区間もある。

■道路空間の再配分が困難な道路の例

【市道堀田高岳線】



名古屋市の特色である「広い歩道」

名古屋市では平成13年3月に「自転車利用環境整備基本計画」を策定し、幹線道路をコリドー路線と位置づけ自転車利用空間のネットワークを整備

コリドー路線ネットワーク

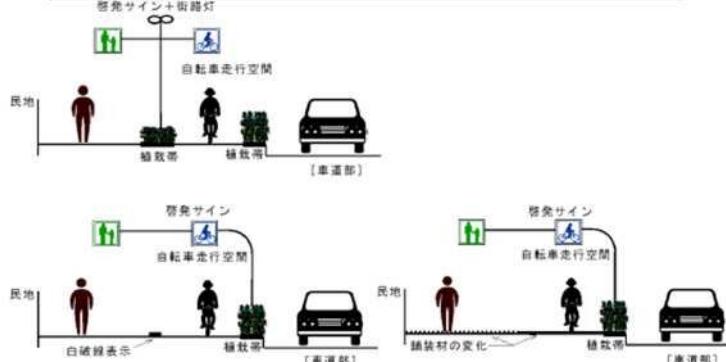


整備イメージ

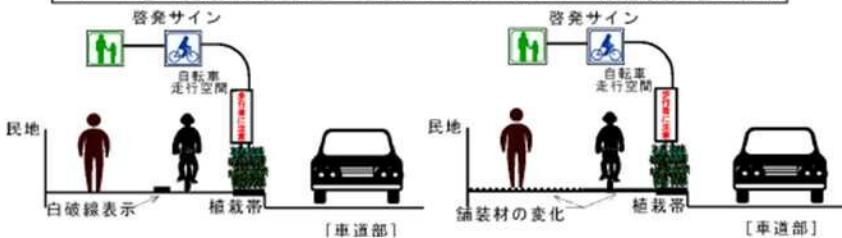
パターン①：自転車・歩行者を完全に分離するタイプ



パターン②：歩道上で自転車・歩行者が共存するタイプ(広幅員歩道の場合)



パターン③：歩道上で自転車・歩行者が共存するタイプ(狭幅員歩道の場合)



名古屋市の特色である「広い歩道」



自転車・歩行者を植栽等により構造的に分離した事例



市道山王通(昭和区鶴舞)

名古屋市の特色である「広い歩道」

視覚的な分離に加えポストコーンにより自転車と歩行者を分離した事例



名古屋市の特色である「広い歩道」

直轄国道での自転車・歩行者を視覚的に分離した事例

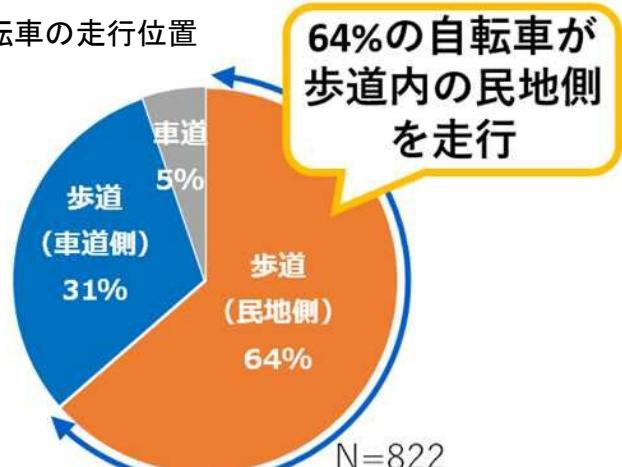


自転車は歩道の中央から車道よりを徐行.... 守られているか

多くの自転車が歩道の民地側を走行し歩行者と接触する危険性が高い



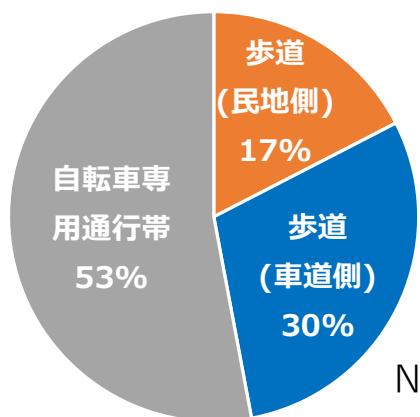
■歩道における自転車の走行位置



※令和6年12月
国道41号高岳～高岳北交差点調査結果
(7:00-10:00, 16:00-19:00)



■参考: 車道側に自転車通行空間が整備された道路の例
国道19号 中区大須



歩道を自転車が走行する時の歩行者安全向上を検討・試行

勉強会を立ち上げ名古屋市内の道路特性(広い歩道)を踏まえた自転車通行空間のあり方を検討

名古屋市内の自転車通行空間のあり方勉強会

- ・名古屋国道事務所
- ・愛知県警察
- ・名古屋市緑政土木部



勉強会の方向性のイメージ



○先導的・モデル的な取組を行う区間を作れないか。

歩道を自転車が走行する時の歩行者安全向上を検討・試行

今年度に歩道での自転車と歩行者との視覚分離対策をモデル的に実施
対策前後での自転車の走行位置の検証と対策実施後に自転車利用者ヘルール・マナーの啓蒙を行い、歩行者の安全性向上を検証予定

■モデル区間



■取り組みのイメージ



引き続き車道における自転車通行空間の整備を進めると共に、車道からの空間捻出が困難な区間について本取組の効果を踏まえ、市内の道路特性を反映した整備を推進